

光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2024年 2月号>

200号 2024.02.01配信

能登半島地震から1カ月が過ぎました。震災からの復興には大変な時間がかかりそうです。一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます。

近年は、繰り返される地震、コロナウイルス、諸外国の戦争など、子どもたちが希望を持って将来の夢や目標を大きくというには大変厳しい現実があります。

先日テレビで、美容が学べる高校を75歳で設立した88歳の美容研究家の女性を紹介していました。自分が得た知識やスキルを次世代に継承していきたいと、年齢に関係なく前を向いて生きていく姿勢を示すことで若い世代に希望を与えられるのは、心強く思います。

ワーキングクラブも、私たちが元気に生きていくための活動をしたいと考えています。活気のある同窓の輪をつくっていきましょう。(中学校高等学校教職員ネットワーク)

■同窓会だより

◇同窓生が自らの避難場所でボランティア活動

本学で長きにわたり教鞭をとられた谷井淑子さん(1975年美学卒・1988年大学院造形修了、環境デザイン学科元学科長)は、能登半島地震で被災。穴水町の避難所での生活を余儀なくされていました。日ごとに劣悪な環境となる避難所トイレの掃除担当を自主的に実行した様子が北國新聞に掲載されました。皆さんから大いに感謝され、その話を聞いた同窓生が「誇りに思います」のことばに「昭和の精神です」といわれたそうです。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

◇学年会・クラス会・ゼミ会の開催で活動支援金を交付

学年会・クラス会・ゼミ会を開催した際、活動支援金10,000円を交付します。クラスメートと学生時代の思い出を語り、当時にタイムスリップしてみませんか？学内で集まる場所として光葉同窓会研修室を貸し出しています。申請はクラス(学年)幹事で、所定の申請書を光葉同窓会事務局に提出してください。詳細はホームページに掲載していますので、必ずご確認ください。開催報告を会報に掲載しています。

◇ワーキングネットワークミーティングを行います

2月10日(土) 13時~15時 大学9号館の1S01で、これまでのワーキング活動を振り返り、次年度の活動計画を話し合います。

◇開催予定の支部会

・2月6日(火) 三重県支部会 ・2月18日(日) 静岡県支部会

詳細は、光葉同窓会ホームページまたは事務局にお問い合わせください。

■広げよう光の葉

畠 麻梨奈 さん

2010年 英語コミュニケーション学科卒

「ボストン・ニューヨークの旅に参加して」

私は昭和女子大学附属中等部へ入学し、5 修生として英語コミュニケーション学科に進学しました。卒業後は外資系化粧品会社に勤め、その後世の中のことをもっと知りたいと大きく方向転換し、内閣官房、内閣府、そして現在は文部科学省に勤めています。

社会人生活 14 年を振り返ると、家庭を持つことや海外旅行に行くことに憧れながらもなかなか叶わず、仕事に邁進し、休日は休息に充てるのみでした。コロナ禍の影響でここ数年は自分の夢や憧れを忘れかけていました。1 通の葉書が届き、拝読した瞬間、胸が躍り今すぐにも駆けだしたい気持ちになりました。光葉同窓会 50 周年記念ボストン・ニューヨークの旅 4 泊 6 日(2023 年 9 月 13 日～18 日)の旅の案内でした。

ボストン校には中学 2 年生のボストンアドベンチャーと英コミ 2 年生の時に留学し、またいつかと思い続けて 16 年経ちました。旅程表を眺めながら費用や夏季休暇を考慮し、参加するか否か逡巡したのち父を誘ってようやく参加申し込みをしました。旅の写真と動画は父と合わせて 1,100 件以上となり、勇気を出して参加して本当によかったです。観光地巡りをはじめ、昭和ボストンではセレモニーやキャンパスツアーで歓迎していただき、恩師と再会、ボストン支部の方や現役生との懇談もありました。私が留学時に球場で購入したレッドソックスのサンバイザーや当時のアルバムを持参してご覧いただくと、皆様が目を細めて喜んでくださり、話の輪が広がりました。また、オプションで参加した野球観戦とミュージカル鑑賞も大変印象に残っています。バスでの移動では渋滞に巻き込まれることも



ボストン・レッドソックスの本拠地
球場フェンウェイパークにて

多々ありましたが、全日程が天候に恵まれ、蒸し暑い日本と異なり、空気がひんやりカラッとしていて日差しがホッと心地よかったことを鮮明に覚えています。帰国後も参加された皆様との交流が続いていることがこの旅で願ってもみない嬉しい実りです。誘い合って平日の仕事後に女子会、11 月の秋桜祭で再会、休日に父も交えて食事会、さらにはご紹介で新たな OG の方々との出会いもあります。光葉同窓会の皆様と交流していると、大きな幹から色も形も異なる枝葉がぐんぐんと伸びていき、その輝く枝葉のひとつに自分がいると感じられます。そう感じることで公私さまざまな局面で勇気と自信が湧いてきます。光葉同窓会の存在は、夢を忘れかけ心細くなっていた私の人生において、得難い心の支えです。これからもたくさんの出会い、再会がありますように。

旧知の友人、OG や後輩の皆様、まだお会いできていない皆様に思いを馳せて。【End】